

[2月24日 16:30]

前期日程初日、東大を受験する生徒を応援するために、新大阪駅を出発。毎年のごとですが、「あ〜、この季節が来たな〜」としみじみしながら、今年は『ほかならぬ人へ』(白石一文)をおもむろに取り出し、読みしだしました。ちょっと前に直木賞を受賞した作品です。まあ、読み始めるやいなや、漆黒の闇の中に意識が入って行ってしまったので、何の話か分からなくなりました。もう1回最初から読み直します(こんなことってありますよね!)。そうこうしているうちに品川に到着。翌日の朝に教え子に渡すお菓子を探します。とりあえず、『銀座のいちごクッキー』と『東京ミルクサブレ』を購入。あと、12個入り『ごたまご』も2つほど購入。いつもお世話になっている研伸館の校舎へのおみやげです。こういう細かい優しさを発揮できるところが、研伸館地理講師の良さなのでしょうね。…自画自賛の時間はこれまでにして、晩ご飯の話にいきましょう。

去年は、日本史講師の岡上先生と不気味さ漂うカレー屋に入ったのですが、今年は全然違います。もう数日したら、この「強者の戦略公式ホームページ」に寄稿していただく、研伸館卒業生の近藤伸郎さんと原稿の打ち合わせをするために、駒場東大前駅付近の定食屋さんに行きました。「菱田屋」という名前のこの定食屋さんは東大生御用達だそうで、いつも列ができています。確かに、今回も数分待たされました。近藤くんから、「ここは魚料理がおいしいんですよ」と言われたので、「さばの味噌煮+ごはんセット」を注文しました。いや〜おいしかったですね。結構大きいさばで、もしかしたら最後の方は飽きてくるかなーと思いきや、最後まで最初に口にしたときの新鮮さを失わないすがすがしい味わいでした。箸置きも落花生なんですよ。粋ですよ。中身はちゃんと食べられます。



「菱田屋」



「さばの味噌煮+ごはんセット」

そして、近藤くんと、研伸館の平山先生や寺岡先生の話、また私自身の話などをしていると、ちょっと離れたカウンター席の人がこっちをちらちら見てきます。「教え子なのか！？いや、関西に住んでいて研伸館に通ってなかったけど、“もしかして研伸館の南先生がこんなところに来ているの？”と感動と感嘆を押し隠しながら、私を横目で見よう見まねで見ているのか！？」と自意識過剰に妄想していると、ひときわ大きな歓声が私の頭の右上後ろから聞こえてきました。そう、テレビで放映されていた浅田真央さんのショートプログラムが終わったのです。みんな浅田真央さんに注目していたのです。一瞬でも、私のことを見ているんじゃないかと思ったさっきの時間を削除してほしくなった瞬間でした(こんなことってありますよね!)。食後は、二人で渋谷駅まで歩いてそこで別れ、私は毎年宿泊している『カプセルランド渋谷』に宿泊しました。

[2月25日 7:00]

受験当日の朝を迎えました。昨夜は2月とは思えないほどの暖かさ、いや暑さを感じて寝苦しかったですが、AM5:41に一通のメールで目覚めます。「東大応援よろしく！阪大と京大行ってきます！」とは研伸館の笹谷先生からのメールでした。朝寝坊しないようにずーっと起きて徹夜だそうです。応援にかける執念を感じた瞬間でしたね。そして、ぼーっと朝のニュースやオリンピックの映像をカプセル内の小さなテレビで見ているとAM6:42、さらにメールが到着。「七時には駒場東大前つくわ。現在京王線明大前」とは研伸館の北林先生のメール。何と北林先生は夜行バスに乗って東京へ向かっていました。いや〜かなり寝苦しかったでしょうね。ここでねぎらいの言葉を発しておきましょう。私自身もゆっくりしてられないかと、そそくさと身支度を整え、『カプセルランド渋谷』を出発です。カプセルホテルから渋谷の駅に行くまでの道で、相当数のカラスがゴミをあさっている風景に驚愕。自分がついばまれでもしたらどうしよう…とか思いながら、駅に到着。さらに二駅さきの「駒場東大前」駅に到着(7:45)。

[2月25日 7:45]

北林先生より大分遅れて駒場東大前駅に到着。まだ生徒も来ていないだろうと改札口などの写真を撮りつつ、バレーコート前に到着。いつもの定位置です。この東大の受験会場に来るといろんな人に会えます。自分の教え子の現役生はもちろんのことですが、惜しくも合格に届かなかった浪人生(去年の教え子)、さらには大学1年生や2年生でサークルのピラ配りをしているかつての教え子などなどです。毎年アメフトの応援で来ているU田さんには今年も会うことができました。U田さんは、「自分も昔は研伸館生だったのよー」と言いつつ、わが教え子達にお菓子などを配っていただきました。さすがU田さん！ありがとうございます。ちなみに、今年は開門の時間が10分ほど早かった気がします。しかも、恒例の空襲警報みたいな豪快なブザー音が鳴らなかったのです。ちょっとショックですよ。確かにあの音を聞くと心臓がバクバクしてきて緊張感マックスになりますけど、古き良き伝統は残して欲しかったとは思います。来年の復帰に期待しましょう。そして、数人会えない生徒はいましたが、一路京大を目指して8:50に駒場東大前を出発です。

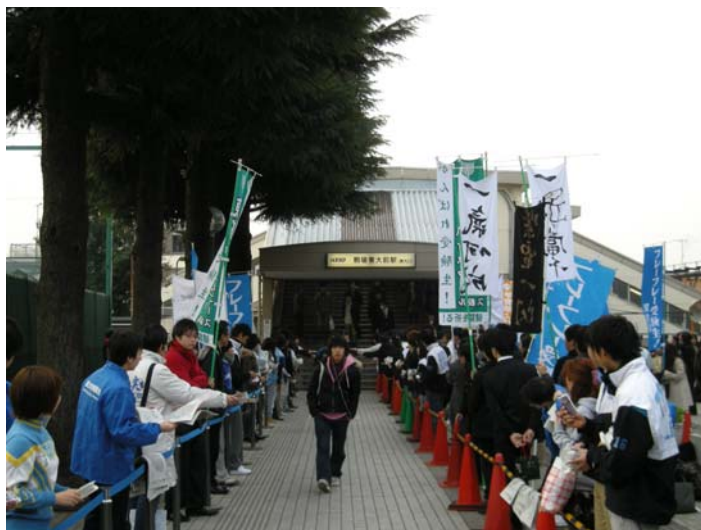
さあ、ここからはスピード勝負です。超満員の電車に、乗客の明らかな嫌悪の表情に気づきつつもお尻で彼らを蹴散らしながら乗り込んで南・北林は渋谷駅へ向かい、山手線に乗り換えます。一旦新宿方向に向かう電車に間違えて乗りつつも、慌てて人を押し分けドアの閉まる寸前で抜け出し(かなり迷惑！ごめん、渋谷人たちよ)、品川方面に向かう電車に乗って品川へ到着。ただ、この品川駅は山手線と新幹線ホームとの距離が結構あるのです。しかも、新幹線発車まではちょうど10分。そう、ダッシュで切り抜けるしか手段はありません。北林先生が着いてきているかどうか確認できないままに猛然と人混みの中を優雅に切り抜け、新幹線ホームにたどりつき、後ろを振り返ります。すると北林先生が息も乱れずに「間に合ったね」と一言。「おー！どこにそんな体力あったんですか！？あなたは一体何者？」と若干感動したのもつかの間、その北林先生、改札口を通るときに「ティロ〜ン♪」と鳴って挟まれていました。残念！そして無事新幹線に乗り込み、いつものようにサンドイッチとコーヒーを口に入れて、眠りにつくことにしました。薄れゆく意識の中で、私の前の席に座っていた北林先生の食べている弁当の箱に書いてある字を読むと「やきにく」と書いてあった気がします。AM9:30のことでした。



「駒場東大前駅改札口」



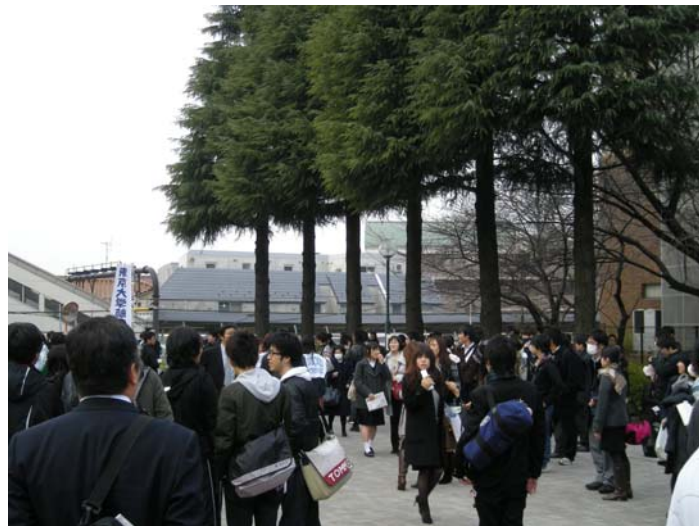
「駒場東大前駅 階段上からの見下ろし」



「階段を下りてから門までの道」



「何故か0が大きすぎる気もする門の掲示」



「開門を待ちわびる受験生」

[2月25日 11:40]

心地よい揺れと心地よい快眠、そんな至福のときが終わりを告げ、我々の乗る「のぞみ号」は京都駅に停車します。私は何年も同じルートで受験応援しているので、タクシー乗り場に近い出口が八条口だと知っていたので、脇目も降らずにそちら方向へ向かい、タクシーに乗り込みます。運転手さんは、「暑かったら窓開けてくださいね。一応冷房はつけていますが、きつすぎるとあれなんで…」とおっしゃいます。今日が2月25日なのかと疑いたくなります。こんなこと言われると。去年は冷たい雨が降りしきる日だったので大きな違いです。タクシーの中で、すでに京大入りしている笹谷先生、網干先生、京大に向かおうとしている京都校の進学アドバイザー湯川さんと連絡を取りつつ、12:00過ぎに京大法経学部棟近くの時計台に行くことにしました。教え子にもその時間に時計台に行くことを伝えてもいました。

12:00に時計台に到着して、構内を歩き回るとたくさんの教え子に出会いました。今年はずかしくて晴れていたのに、教室の中の雰囲気よりも外に出る方を選んだんでしょうね。私は出会う教え子に、東大の会場で配りきれなかった『銀座のいちごクッキー』と『東京ミルクサブレ』やアメを配っていました。すると、中央食堂の横ぐらゐから、研伸館の笹谷先生・竹本先生・草郷先生・答島先生・網干先生・湯川さんが登場し、南・北林と合わせて、勢揃いしました。毎年恒例のことですが、みんな熱い人だな〜としみじみします。そして13:00ぐらいになると外を出歩いている教え子はいなくなるので、これまた毎年恒例学食ルネでの昼食タイムとなります。どうでもいいですが、私は毎年キムチ鍋を食べます。量が多くて食べきれないときもありますが絶品です。良かったらみなさんも食べてみてください。また、ルネの特色はパフェにあり！食後は“何となくパフェ行くでしょ”的な雰囲気が醸し出され、南・笹谷・網干の3名はパフェの道へ進んでいきました。パフェを持っている写真は湯川さんですが、握っている大盛りパフェを食べた人物は笹谷先生です。お間違えの無いように。笹谷先生はこの写真のパフェを5分程度で完食していました。すごいスピードだと思いませんか？実はこのパフェのカロリーは1000kcal ぐらいあるのです。昼食1回分は軽くありますよ。笹谷先生は、晩ご飯はいらぬかもとおっしゃっていました。でもきっとありったけの晩ご飯を食べたことを予測しておきます。



「体育館の横にある学食ルネ」



「パフェ片手にほほえむ京都校進学アドバイザー湯川さん」